

蓼葉帯紅秋色催

蓼葉紅りようようくれなひを帯おび 秋色しゅうしよくを催もよおす

境深泉石不留埃

境深きようふかくして 泉石埃せんせきちりを留とどめず

陶然一醉詩思富

陶然一醉とうぜんいつすい 詩思しし富とみ

疎竹牕前雨欲來

疎竹牕前そちくそうぜん 雨來あめきたらんと欲ほつす

空齋居士